

夢を目指す皆さんへ贈るメッセージ



平石光司

学生時代、勉強の習慣をつけることから始めましたが、日々勉強することで、“やればやるだけ成長できる”と、実感できました。

勉強が苦手な人は、一人ではなく、何人かで(できたら頭の良い人も含め笑)教え合いながらの勉強をお勧めします!



身体の痛みとの関連がわかることが、平石さんの強み。野球選手の患者様には、「今、こういう投げ方なので、は？」とか、「体が突っ立って投げてないですか？」という、具体的なアドバイスも加えた施術を行っています。

野球だけでなく、スポーツが全般に好きな平石さんは、患者様と、それぞれのスポーツについて話しながら、楽しく施術することを意識。痛みが消えたり、軽くなったときの患者様の笑顔を見ると、**すごく幸せな気持ちになります。**

また、平石さんは、柔道整復師が施術する接骨院・整骨院と、整体師が行う整体院との違いが、制度の面でも、魅力の面でも、患者様に明確に分かっていただけるようになったら、と願っています。

接骨院・整骨院は、ケガに対する施術には健康保険が適用され、患者様の費用負担も軽くなります。国家資格である柔道整復師として、患者様の症状を適切に把握し、患者様利益を優先した施術によって、確実に治療促進させることが務めであり、違いを生むことにもつながります。

接骨院・整骨院自体も、年々増加中。そんな中、平石さんは、勤務する治療院でしっかりと経験を積み、知識を増やし、技術を高め、競争に打ち勝つ力がある柔道整復師としてトリーナーになりたいと考えています。とても大変な毎日ですが、とてもやりがいがある仕事。毎日コツコツ治療を続けています。



11

こばやし鍼灸整骨院 勤務

平石 光司さん

■柔整学科 2014年卒業11期生

患者様の笑顔を見ると、 すごく幸せな気持ちに。

野球をしてきた自分の経験から、患者様の身体の使い方のアドバイスをできることが自分の強み。

中学生の時、野球をしていて、初めてのケガを接骨院で治療。テーピングや包帯を巻く先生の姿に、「先生カッコいい」と憧れを抱いたことが、平石さんのトレーナー人生の始まりでした。憧れに加えて、自身がよくケガをすることから、ケガの痛みがよくわかることも生かしたいと、高校卒業後1Gの柔整学科に進学。何度も参加したオープンキャンパスでの、教員の熱心な指導が決め手でした。

高校時代は野球漬けの生活で、勉強は「テスト前だけ」が関の山。1Gに入っても、「テストの前だけやればいいや」と甘く考え、1年生の成績は最悪。言うまでもなく、一夜づけの知識は、すぐに忘れてしまいます。

そこで平石さんは、勉強ができるクラスメイトに教えてもらいながら、**毎日コツコツ勉強する習慣**を身につけます。クラスメイトにも恵まれましたが、自分自身、「がんばった」と言える3年間。1Gでも野球部に所属し、毎日の勉強とともに、毎週1〜2回の練習と、試合もやりきることができました。

卒業後の進路として、**スポーツ外傷が多く、特に野球選手が通う接骨院**を探し、小・中・高・大学生の患者様が多い、こばやし鍼灸整骨院を見学。とても明るく元気で、治療技術も知識も豊富なこの治療院の先生方から、**しっかりと学ばせて頂きたい**と思い、就職します。

ずっと野球をしてきた経験から、体の使い方、投げ方、打ち方などと、